

QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチ マニュアル訂正資料

All Rights Reserved

事前に NEC の書面による許可なく、本マニュアルをいかなる形式または方法で複製または配布することを禁止します。

商標

本マニュアルに記載されているその他の商標は、各社が保有します。

注意

本マニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルのすべての記述、情報、および推奨事項は、明示的か暗黙的にかかわらず、いかなる種類の保証の対象になりません。

本資料について

この資料は、以下に示す QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチに関するマニュアルからの変更内容を記載しています。

マニュアル	マニュアル番号	内容
QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチ インストールマニュアル	GVT-173246-001-00 3.1	システムのインストール について説明していま す。
QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル	GVT-173248-001-00 1.5	機能の設定について説明 しています。
QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル	GVT-173249-001-00 1.4	機能に関するコマンドに ついて説明しています。

発行

2026年9月（6版）

改版履歴

版数	日付	内容
1.0	2026/1/14	新規作成
2.0	2026/1/30	#14289、#14297、#14308、#16802、#17318 を追加
3.0	2026/2/16	#16909 を追加
4.0	2026/3/18	#19603 を追加
5.0	2026/3/25	#16729、#19346、#20212 を追加
6.0	2026/9	#20290 を追加

目次

1 章 QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチ インストールマニュアル	6
09-付録 A ポートと LED	7
9.4.8 ファンモジュールアラーム LED	7
2 章 QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル	8
02-IRF スタック	9
1.5.4. IRF スタックポートと物理インタフェースへの関連付け	9
03-アクセス	10
6.1.6. ダイナミックリンクアグリゲーション	10
10.9.3. IP サブネットベース VLAN 設定例	11
14.2. 制限とガイドライン	12
05-ルーティングプロトコル	13
5.7.9 デフォルトルートへの再配信の設定	13
7.4.2. インタフェース PBR のポリシーの設定	14
08-ACL and QoS	15
4.1. 概要	15
4.1.1. プライオリティ	16
4.1.4. プライオリティのマッピング手順	18
4.3. プライオリティマッピングの設定	20
4.6. プライオリティマッピングの表示と維持	21
12.2.1. プライオリティマップ	22
09-セキュリティ	25
4. MAC アドレス認証	25
10-高可用性	26
5.4.2 Smart Link グループのプロテクト VLAN の設定	26
3 章 QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル	28
01-はじめに	29
3.1.17 ip https enable	29
10.1.14 display environment 説明	30
03-アクセス	31
6.1.15 link-aggregation mode	31
14.1.2 vlan mapping	32
04-IP サービス	33
22.1.1 http-redirect https-port 説明	33
07-ACL and QoS	34
3.1.1. display qos map-table	34
3.1.3. qos map-table	36
11-システム管理	37
4.1.31 snmp-agent usm-user v3	37

1 章 QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチ インストールレーションマニュアル

09-付録 A ポートと LED

9.4.8 ファンモジュールアラーム LED

表 9-18 ファンモジュールアラーム LED の説明

■管理情報

区分	管理番号
変更	#14886

■内容

変更前)

ポート LED の状態	説明
点灯	ファンモジュールは故障しています。
消灯	ファンモジュールは正常に動作しています。

変更後)

ポート LED の状態	説明
点灯	ファンモジュールは正常に動作しています。
点滅	ファンモジュールは故障しています。
消灯	ファンモジュールの電源入力がありません。

2 章 QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル

02-IRF スタック

1.5.4. IRF スタックポートと物理インタフェースへの関連付け

II. 設定手順

■管理情報

区分	管理番号
変更	#14308

■内容

変更前)

操作	コマンド	補足
6. 各 IRF スタック物理インタフェースに IRF スタックポートを関連づける	port group interface interface-type interface-number	デフォルト：全ポート関連づけなし リンクの冗長性のため、複数の IRF スタック物理インタフェースを IRF スタックポートに割り当てる場合、このコマンドを繰り返してください。 1 つの論理ポートに 最大 2 ポート の IRF スタック物理インタフェースを関連づけることができ、装置として最大 4 ポートまでを関連づけることができます。

変更後)

操作	コマンド	補足
6. 各 IRF スタック物理インタフェースに IRF スタックポートを関連づける	port group interface interface-type interface-number	デフォルト：全ポート関連づけなし リンクの冗長性のため、複数の IRF スタック物理インタフェースを IRF スタックポートに割り当てる場合、このコマンドを繰り返してください。 1 つの論理ポートに 最大 4 ポート の IRF スタック物理インタフェースを関連づけることができ、装置として最大 4 ポートまでを関連づけることができます。

03-アクセス

6.1.6. ダイナミックリンクアグリゲーション

III. LACP 動作モード

■管理情報

区分	管理番号
追加	#16802

■内容

LACP はアクティブモードあるいはパッシブモードで動作することができます。

LACP がローカルメンバポートとピアのポート上でパッシブモードとして動作するとき、双方のポートは LACPDU を送信することができません。LACP がローカルメンバポートとピアのポート上でアクティブモードとして動作するとき、双方のポートは LACPDU を送信することができます。

QX-S4800X シリーズはアクティブモードのみをサポートしています。

10.9.3. IP サブネットベース VLAN 設定例

II. 設定手順

■管理情報

区分	管理番号
変更	#14297

■内容

変更前)

ハイブリッドポートとして、**Ten-GigabitEthernet 1/0/11** を設定し、タグづけ VLAN メンバとして VLAN 100 に割り当てます。

```
[DeviceC] interface ten-gigabitethernet 1/0/2
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/2] port link-type hybrid
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/2] port hybrid vlan 100 tagged
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/2] quit
```

ハイブリッドポートとして、**Ten-GigabitEthernet 1/0/12** を設定し、タグづけ VLAN メンバとして VLAN 200 に割り当てます。

```
[DeviceC] interface ten-gigabitethernet 1/0/3
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/3] port link-type hybrid
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/3] port hybrid vlan 200 tagged
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/3] quit
```

変更後)

ハイブリッドポートとして、**Ten-GigabitEthernet 1/0/2** を設定し、タグづけ VLAN メンバとして VLAN 100 に割り当てます。

```
[DeviceC] interface ten-gigabitethernet 1/0/2
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/2] port link-type hybrid
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/2] port hybrid vlan 100 tagged
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/2] quit
```

ハイブリッドポートとして、**Ten-GigabitEthernet 1/0/3** を設定し、タグづけ VLAN メンバとして VLAN 200 に割り当てます。

```
[DeviceC] interface ten-gigabitethernet 1/0/3
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/3] port link-type hybrid
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/3] port hybrid vlan 200 tagged
```

```
[DeviceC-Ten-GigabitEthernet1/0/3] quit
```

14.2. 制限とガイドライン

■管理情報

区分	管理番号
追加	#16909

■内容

VLAN タグをパケットに追加するには、VLAN マッピングと QinQ の両方を設定できます。VLAN マッピングは、設定の重複が発生した場合に有効になります。QinQ の詳細については、オペレーションマニュアルのセクション 3 アクセス "QinQ"を参照してください。

- パケットに VLAN タグを追加または置換するには、VLAN マッピングと QoS ポリシーの両方を設定できます。QoS ポリシーは、設定の重複が発生した場合に有効になります。QoS ポリシーの詳細はオペレーションマニュアルのセクション 8 ACL and QoS "QoS ポリシー"を参照してください。
- DHCP スヌーピングとの併用はできません。
- VLAN マッピングを適用したインタフェースを経由し、かつ VLAN マッピング対象の VLAN インタフェースを経由する L3 通信は未サポートです。VLAN マッピング対象の VLAN に VLAN インタフェースを作成および IP アドレスを設定する場合は、L3 通信の経路（送受信インタフェース）には VLAN マッピングを適用しないでください。

05-ルーティングプロトコル

5.7.9 デフォルトルートの再配信の設定

II. 設定手順

■管理情報

区分	管理番号
変更	#14289

■内容

変更前)

操作	コマンド	補足
3. デフォルトルートを再配信するように設定する	default-route-advertise [[[always permit-calculate-other] cost <i>cost</i> route-policy <i>route-policy-name</i> type <i>type</i>] * summary <i>cost</i> <i>cost</i>]	デフォルト：再配信されません。 このコマンドは VPN のみ設定可能です。 PE ルータは CE ルータに Type-3 LSA でデフォルトルートを配信します。

変更後)

操作	コマンド	補足
3. デフォルトルートを再配信するように設定する	default-route-advertise [[[always permit-calculate-other] cost <i>cost</i> route-policy <i>route-policy-name</i> type <i>type</i>] * summary <i>cost</i> <i>cost</i>]	デフォルト：再配信されません。 このコマンドは Type-5 LSA (summary cost 指定時は Type-3 LSA) のデフォルトルートを再配信します。

7.4.2. インタフェース PBR のポリシーの設定

制限とガイドライン

■管理情報

区分	管理番号
変更	#17318

■内容

変更前)

指定されるポリシーはすでに作成されている必要があります。インタフェースには1つのポリシーのみ適用することができます。新しいポリシーを適用する前にインタフェースから現在のポリシーを削除してください。

複数のインタフェースにポリシーを適用することができます。

変更後)

指定されるポリシーはすでに作成されている必要があります。インタフェースには1つのポリシーのみ適用することができます。新しいポリシーを適用する前にインタフェースから現在のポリシーを削除してください。

複数のインタフェースで同じポリシーを適用することができます。

08-ACL and QoS

4.1. 概要

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-1

■内容

変更前)

プライオリティマッピングはプライオリティマッピングテーブルに実装され、以下のプライオリティを決定します。

- 802.1p プライオリティ
- DSCP
- EXP
- IP プレシーデンス
- ローカルプレシーデンス
- ドロッププライオリティ

変更後)

プライオリティマッピングはプライオリティマッピングテーブルに実装され、以下のプライオリティを決定します。

- 802.1p プライオリティ
- DSCP
- IP プレシーデンス
- ローカルプレシーデンス

4.1.1. プライオリティ

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-2

■内容

変更前)

パケットに含まれているプライオリティは、802.1p プライオリティ、DSCP プレシーデンス、IP プレシーデンス、EXP があります。パケットに含まれるプライオリティは、他の装置でも使用されるため、ネットワークに影響します。プライオリティの詳細は、オペレーションマニュアルのセクション 8 *ACL and QoS ” 付録 ”* を参照してください。

ローカルに割り当てられたプライオリティは装置内でのみ使用されます。プライオリティはローカルプレシーデンス、ドロッププライオリティがあります。

- ローカルプレシーデンススケジューリング用に使われます。ローカルプレシーデンスの値は出力キューに対応します。ローカルプレシーデンスの値が高いパケットが高い出力キューに割り当てられます。
- ドロッププライオリティパケットの廃棄を行うために使用します。ドロッププライオリティの値が高いパケットを優先的に廃棄します。
- ユーザプライオリティ装置が自動で転送するパスに従いパケットのプライオリティフィールドから優先度を決定します。パケットのスケジューリングプライオリティと転送プライオリティを決定します。ユーザプライオリティは以下のアイテムを示します。
 - レイヤ 2 パケットの 802.1p プライオリティ
 - レイヤ 3 パケットの IP プレシーデンス

QX-S4800X シリーズはローカルプレシーデンス、ドロッププライオリティのみサポートします。

変更後)

パケットに含まれているプライオリティは、802.1p プライオリティ、DSCP プレシーデンス、IP プレシーデンスがあります。パケットに含まれるプライオリティは、他の装置でも使用されるため、ネットワークに影響します。プライオリティの詳細はオペレーションマニュアルのセクション 8 *ACL and QoS ” 付録 ”* を参照してください。

- ユーザプライオリティ転送するパスに従い装置が自動でパケットのプライオリティフィールドから優先度を決定します。パケットのスケジューリングプライオリティと転送プライオリティを決定します。ユーザプライオリティは以下のアイテムを示します。

- レイヤ 2 パケットの 802.1p プライオリティ

- レイヤ 3 パケットの IP プレシーデンス、DSCP

ローカルに割り当てられたプライオリティは装置内でのみ使用されます。プライオリティはローカルプレシーデンスがあります。

- ローカルプレシーデンススケジューリング用に使用されます。ローカルプレシーデンスの値は出力キューに対応します。ローカルプレシーデンスの値が高いパケットが高い出力キューに割り当てられます。

4.1.4. プライオリティのマッピング手順

■ 管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-3

■ 内容

変更前)

ポートでイーサネットパケットを受信した際、スイッチはパケットのプライオリティのスケジューリング(ローカルプレシデンス、ドロッププレシデンス)をマーキングします。プレシデンスは、図 4-1 のように受信したポートのプライオリティトラステッドモードとパケットの 802.1Q タギング状態に従って行われます。

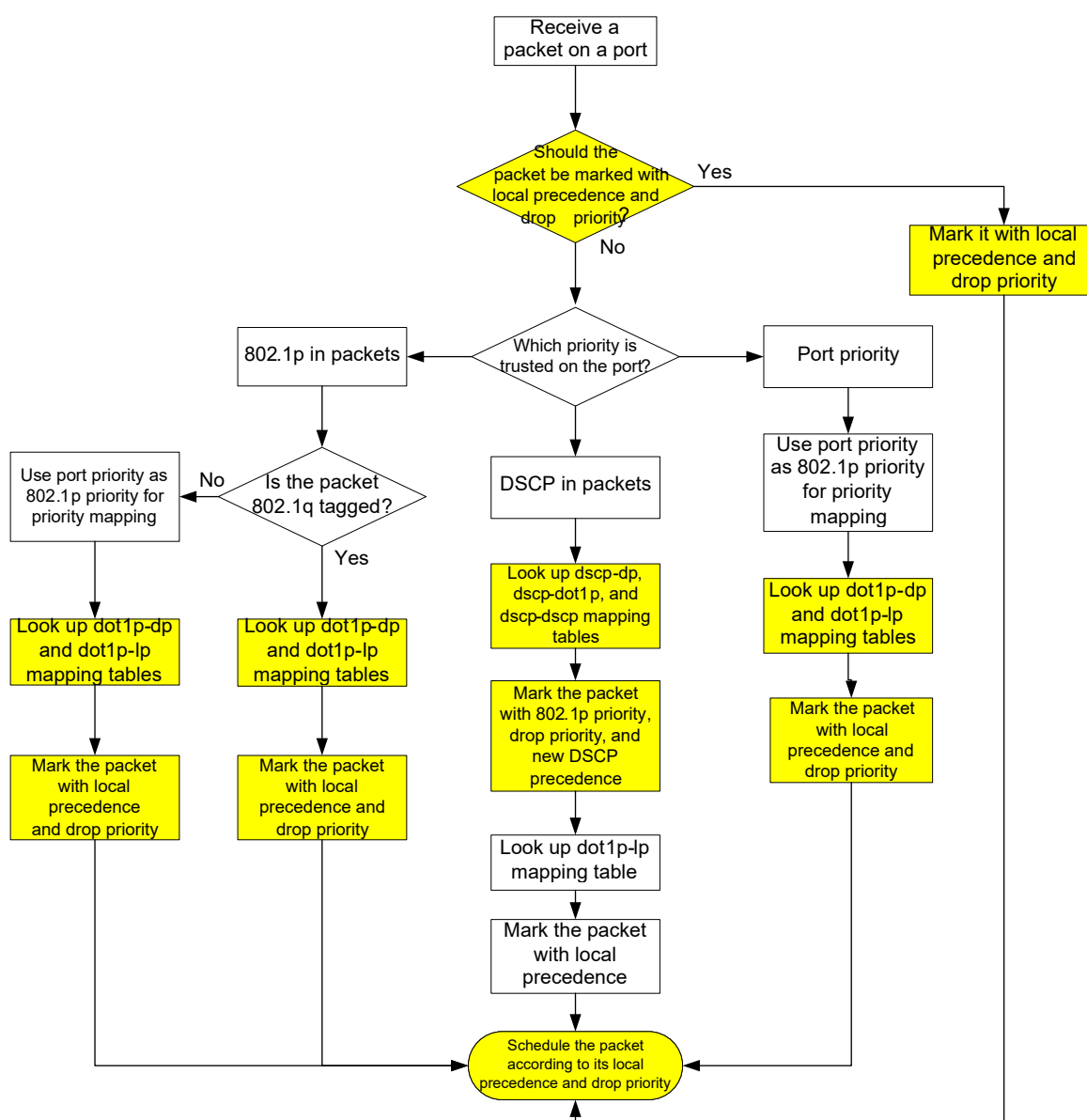


図 4-1 イーサネットパケットのプライオリティマッピング手順

変更後)

ポートでイーサネットパケットを受信した際、スイッチはパケットのプライオリティのスケジューリング(ローカルプレシデンス)をマーキングします。プレシデンスは、図 4-1 のように受信したポートのプライオリティトラステッドモードとパケットの 802.1Q タギング状態に従って行われます

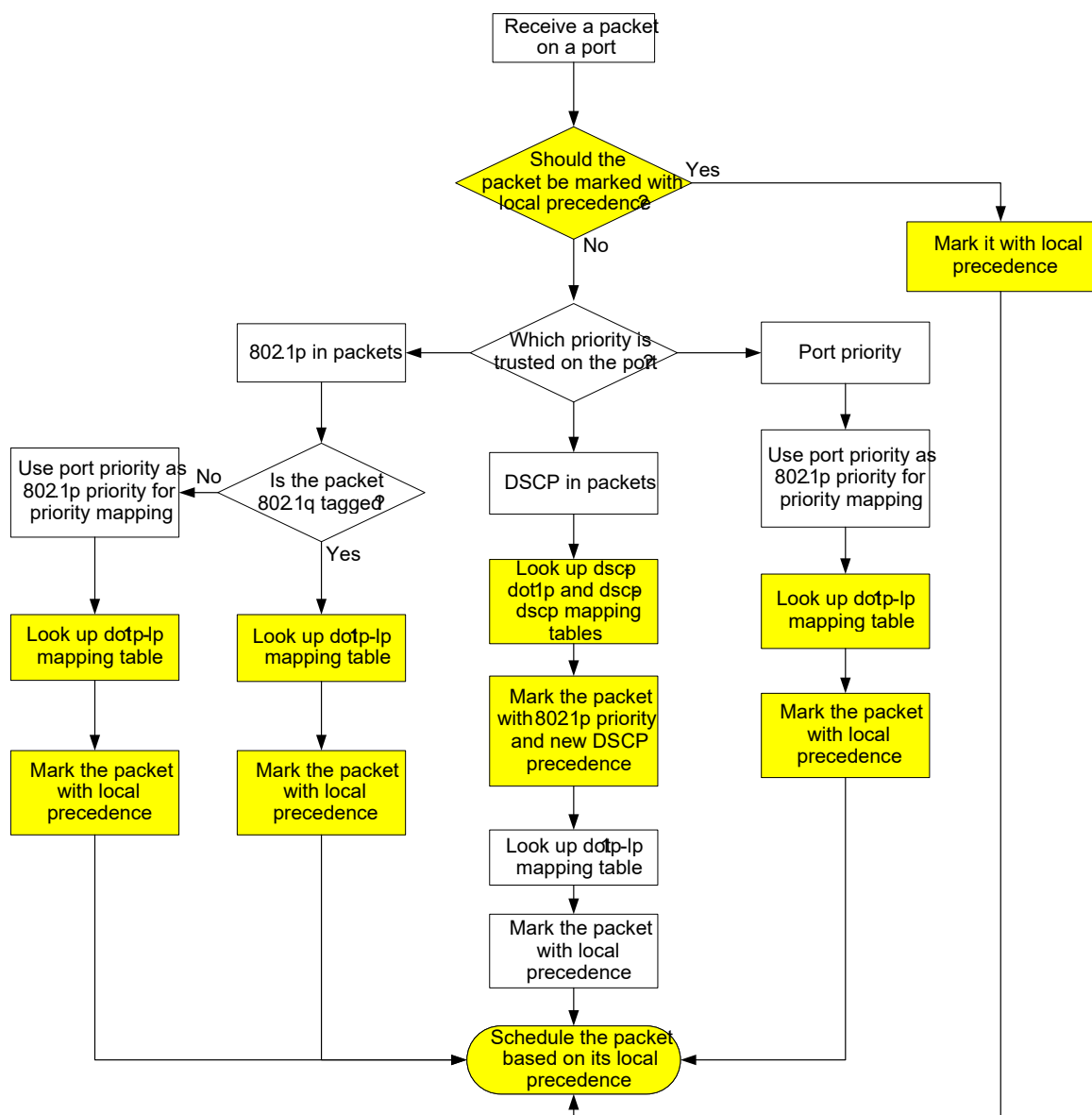


図 4-1 イーサネットパケットのプライオリティマッピング手順

4.3. プライオリティマッピングの設定

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-4

■内容

変更前)

操作	コマンド	補足
2. priority map view に 移行する	qos map-table { dot1p-dp dot1p-lp dscp-dot1p dscp- dp dscp-dscp }	—

変更後)

操作	コマンド	補足
2. priority map view に 移行する	qos map-table { dot1p-lp dscp-dot1p dscp-dscp }	—

4.6. プライオリティマッピングの表示と維持

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-5

■内容

変更前)

すべての view で display コマンドを実行できます。

操作	コマンド
プライオリティマッピング の 設定を表示する	<code>display qos map-table { dot1p-dp dot1p-lp dscp-dot1p dscp-dp dscp-dscp }</code>

変更後)

すべての view で display コマンドを実行できます。

操作	コマンド
プライオリティマッピング の 設定を表示する	<code>display qos map-table { dot1p-lp dscp-dot1p dscp-dscp }</code>

12.2.1. プライオリティマップ

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-6

■内容

変更前)

デフォルトの **dot1p-exp**、dscp-dscp プライオリティマップでは、入力した値と出力の値が同一となります。

表 12-2 デフォルトの dot1p-lp、**dot1p-dp** プライオリティマップ

プライオリティの入力値	dot1p-lp マッピング	dot1p-dp マッピング
dot1p	lp	dp
0	2	0
1	0	0
2	1	0
	3	0
4	4	0
5	5	0
6	6	0
7	7	0

表 12-3 デフォルトの **dscp-dp**、dscp-dot1p プライオリティマップ

プライオリティの入力値	dscp-dp マッピング	dscp-dot1p マッピング
dscp	dp	dot1p
0 to 7	0	0
8 to 15	0	1
16 to 23	0	2
24 to 31	0	3
32 to 39	0	4
40 to 47	0	5
48 to 55	0	6
56 to 63	0	7

表 12-4 デフォルトの exp-dp プライオリティマップ

プライオリティの入力値	exp-dp マッピング
EXP 値	dp
0	0
1	0

2	0
3	0
4	0
5	0
6	0
7	0

表 12-5 Default port priority-local priority map デフォルトのポートプライオリティローカルプライオリティマッピング

Port priority	ローカルプレシードンス
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7

変更後)

デフォルトの dscp-dscp プライオリティマップでは、入力した値と出力の値が同一となります。

表 12-2 デフォルトの dot1p-lp プライオリティマップ

プライオリティの入力値	dot1p-lp マッピング
dot1p	lp
0	2
1	0
2	1
	3
4	4
5	5
6	6
7	7

表 12-3 デフォルトの dscp-dot1p プライオリティマップ

プライオリティの入力値	dscp-dot1p マッピング
dscp	dot1p
0 to 7	0
8 to 15	1

16 to 23	2
24 to 31	3
32 to 39	4
40 to 47	5
48 to 55	6
56 to 63	7

表 12-4 デフォルトのポートプライオリティローカルプライオリティマッピング

Port priority	ローカルプレシードンス
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7

09-セキュリティ

4. MAC アドレス認証

■管理情報

区分	管理番号
追加	#20212

■内容

メモ:

QX-S4800X シリーズの MAC アドレス認証は、CHAP での認証には対応していません。

10-高可用性

5.4.2 Smart Link グループのプロテクト VLAN の設定

■管理情報

区分	管理番号
変更	#20290

■内容

変更前)



重要：

pvst mode を設定している装置で Smart Link を使用する場合は、以下の通りに **protected-vlan reference-instance** コマンドを指定してください。**reference-instance** の値が正しく指定されていない場合は、Smart Link の STANDBY ポートがパケットを転送します。

- ・ **stp global enable** コマンド設定なし

protected-vlan reference-instance 0 コマンドを設定します。

- ・ **stp global enable** コマンド設定あり

Smart Link の対象となる **vlan** の ID が 145 以上の場合は **protected-vlan reference-instance 0** を設定します。それ以外の **vlan** の場合は、該当する **vlan** と同じ ID を **instance** に設定します。たとえば、VLAN 100 を使用する場合は **protected-vlan reference-instance 100** を設定します。

変更後)

**重要：**

pvst mode を設定している装置で Smart Link を使用する場合は、以下の通りに **protected-vlan reference-instance** コマンドを指定してください。**reference-instance** の値が正しく指定されていない場合は、Smart Link の STANDBY ポートがパケットを転送します。

- ・ **stp global enable** コマンド設定なし
protected-vlan reference-instance 0 コマンドを設定します。
- ・ **stp global enable** コマンド設定あり

VLAN の個数が 128 個までは、VLAN ID=インスタンス ID でマッピングされます。129 個目以降の VLAN は全て、インスタンス 0 にマッピングされます。

例) **vlan 1, 3, 5, 200** を定義している場合、以下のように自動的にマッピングされます。

Instance	VLANs Mapped
0	2, 4, 6 to 199, 201 to 4094
(未定義の VLAN、または、129 個目以降の VLAN は 0 にマッピングされる)	
1	1
3	3
5	5
200	200

注) **display stp region-configuration** は、MSTP モード時しか利用できず、PVST モード時は、実際の MSTI マッピング状態を確認できません。

Smart Link の対象となる vlan の ID が、VLAN ID=インスタンス ID でマッピングされた vlan の場合は、**protected-vlan reference-instance** に該当する vlan と同じ ID を instance に設定します。Smart Link の対象となる vlan の ID が、インスタンス 0 にマッピングされている場合は、**protected-vlan reference-instance 0** を設定します。

たとえば、VLAN 100 を使用する場合は、**protected-vlan reference-instance 100** を設定します。しかし、VLAN 200 を使用する場合は、定義された VLAN の数により、**vlan** と同じ ID または 0 のどちらを指定すべきか判断する必要があります。

3 章 QX-S4800X シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル

01-はじめに

3.1.17 ip https enable

■管理情報

区分	管理番号
変更	#16729

■内容

変更前)

デフォルト

有効

変更後)

デフォルト

無効

10.1.14 display environment

説明

■管理情報

区分	管理番号
変更	#12424

■内容

変更前)

例

装置の温度情報を表示します。

<Switch>display environment

System temperature information (degree centigrade):

Slot Sensor Temperature Lower Warning Alarm Shutdown

1 hotspot 1 38 10 40 50 NA

1 hotspot 2 42 10 50 80 NA

変更後)

例

装置の温度情報を表示します。

<Switch>display environment

System temperature information (degree centigrade):

Slot Sensor Temperature Lower Warning Alarm Shutdown

1 hotspot 1 38 10 40 50 NA

03-アクセス

6.1.15 link-aggregation mode

説明

■管理情報

区分	管理番号
追加	#16802

■内容

アグリゲーションモードを変更すると、Selected member ports が Unselected になることがあります。



メモ

LACP 有効時の LACP 動作モードは、アクティブモードで動作します。
パッシブモードへの変更はできません。

14.1.2 vlan mapping

説明

■管理情報

区分	管理番号
追加	#16909

■内容

インタフェースの MTU はデフォルトで 1500 バイトです。パケットに VLAN タグを追加したのち、パケット長は 4 バイト追加されます。one-to-two VLAN マッピングを設定するとき、サービスプロバイダ側ネットワークのインタフェースの MTU を少なくとも 1504 バイトに設定することを推奨します。

VLAN マッピングを適用したインタフェースを経由し、かつ VLAN マッピング対象の VLAN インタフェースを経由する L3 通信は未サポートです。

VLAN マッピング対象の VLAN に VLAN インタフェースを作成および IP アドレスを設定する場合は、L3 通信の経路（送受信インタフェース）には VLAN マッピングを適用しないでください。

04-IP サービス

22.1.1 http-redirect https-port

説明

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19603

■内容

変更前)

http-redirect https-port コマンドは HTTPS リダイレクトの待機ポート番号を指定します。

undo http-redirect https-port コマンドは設定を削除します。

変更後)

http-redirect https-port コマンドは HTTPS リダイレクトの待機ポート番号を指定します。

undo http-redirect https-port コマンドは 6654 ポートにリダイレクトします。

07-ACL and QoS

3.1.1. display qos map-table

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-1

■内容

変更前)

Syntax

```
display qos map-table [ dot1p-dp | dot1p-lp | dscp-dot1p | dscp-dp | dscp-dscp ]
```

パラメータ

装置は表 3-1 に示すプライオリティマッピングを適用します。

表 3-1 プライオリティマッピング

プライオリティマッピング	説明
dot1p-dp	802.1p-drop プライオリティマッピングです。
dot1p-exp	802.1p-EXP プライオリティマッピングです。 QX-S4800X シリーズではサポートしていません。
dot1p-lp	802.1p-local プライオリティマッピングです。
dscp-dot1p	DSCP-802.1p プライオリティマッピングです。
dscp-dp	DSCP-drop プライオリティマッピングです。
dscp-dscp	DSCP-DSCP プライオリティマッピングです。
exp-dot1p	EXP-802.1p プライオリティマッピングです。 QX-S4800X シリーズではサポートしていません。
exp-dp	EXP-drop プライオリティマッピングです。 QX-S4800X シリーズではサポートしていません。

変更後)

Syntax

```
display qos map-table [dot1p-lp | dscp-dot1p | dscp-dscp ]
```

パラメータ

装置は表 3-1 に示すプライオリティマッピングを適用します。

表 3-1 プライオリティマッピング

プライオリティマッピング	説明
dot1p-lp	802.1p-local プライオリティマッピングです。

dscp-dot1p	DSCP-802.1p プライオリティマッピングです。
dscp-dscp	DSCP-DSCP プライオリティマッピングです。

3.1.3. qos map-table

Syntax

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-2

■内容

変更前)

```
qos map-table { dot1p-dp | dot1p-lp | dscp-dot1p | dscp-dp | dscp-dscp }
```

変更後)

```
qos map-table { dot1p-lp | dscp-dot1p | dscp-dscp }
```

11-システム管理

4.1.31 snmp-agent usm-user v3

■管理情報

区分	管理番号
変更	#11551

■内容

変更前)

Syntax

snmp-agent usm-user v3 *user-name group-name* [{ **cipher** | **simple** } **authentication-mode** { **md5** | **sha** } *auth-password* [**privacy-mode** { **3des** | **aes128** | **aes192** | **aes256** | **des56** } *priv-password*]] [**acl** { *ipv4-acl-number* | **name** *ipv4-acl-name* }] | **acl** **ipv6** { *ipv6-acl-number* | **name** *ipv6-acl-name* }] *

パラメータ

privacy-mode: プライバシーアルゴリズムを指定します。このキーワードを指定しない場合、システムはプライバシーを実行しません。

- ・ **3des**: 168 ビットキーを使用する 3DES プライバシーアルゴリズムを指定します。
- ・ **aes128**: 128 ビットキーを使用する AES プライバシーアルゴリズムを指定します。
- ・ **aes192**: 192 ビットキーを使用する AES プライバシーアルゴリズムを指定します。
- ・ **aes256**: 256 ビットキーを使用する AES プライバシーアルゴリズムを指定します。
- ・ **des56**: 56 ビットキーを使用する DES プライバシーアルゴリズムを指定します。

変更後)

Syntax

snmp-agent usm-user v3 *user-name group-name* [{ **cipher** | **simple** } **authentication-mode** { **md5** | **sha** } *auth-password* [**privacy-mode** { **3des** | **aes128** | **des56** } *priv-password*]] [**acl** { *ipv4-acl-number* | **name** *ipv4-acl-name* }] | **acl** **ipv6** { *ipv6-acl-number* | **name** *ipv6-acl-name* }] *

パラメータ

privacy-mode: プライバシーアルゴリズムを指定します。このキーワードを指定しない場合、システムはプライバシーを実行しません。

- ・ **3des**: 168 ビットキーを使用する 3DES プライバシーアルゴリズムを指定します。
- ・ **aes128**: 128 ビットキーを使用する AES プライバシーアルゴリズムを指定します。
- ・ **des56**: 56 ビットキーを使用する DES プライバシーアルゴリズムを指定します。